

アルトの皆様

昨日は練習お疲れ様でした。

総体的に一体感が出てきた感じがしました。

では、練習日誌をお送りします。

●3月16日(土)14時00分～16時40分

●芦原小学校 2階多目的ホール

●参加人数 S/11、A/15、T/3、B/4

○アルデバラン

・66小節から68小節

「きみの～そのために」までしっかりffで歌い切り、69小節「いのりながら～」はmpで入り、mf、f、ffに向かい解放される演出効果を出す。

○母の手

・出だしは確実に言葉を伝えることを意識して、「あわい」の「あ」は音は低いがフワッと出ないで母親に向かう真剣な感じで、5小節から8小節「はなは～」等の長い音符は、最後までお肉を付けて無くならないように。

・12小節から16小節「あたたかな～」はmfになるので、音楽が流れて一步前に厚みが出るように。

・22小節から26小節「Ah」はレガートでは無く、音符を一つずつ積み上げるようなイメージで。

・36小節「たった～」からは少しテンポが上がるのでそれを感じて、46小節からaccel(アツチエルランド)になるので、テンポを段々少しづつ積めて上げて行き、気持ちも同様に上げて、49小節「このうでを～」のffに持っていく。

○等圧線

・1小節から4小節「あおく～」はfなので重く、5小節「まぶし～」からmfで流れが出て気持ちに乗せ、8小節「おおきく～」f、13小節「途方も～」p、15小節「途方も」ffに向かって流れを意識して。

・16小節「ないだけ」はffなので17小節までは強く、18小節のフェルマータになったらフワッと消える。

・67小節「はじめて～」1拍目から2拍目は短く、3拍目を長めに、1.2の流れを大事に(黄金比)三拍子のリズムに乗りましょう。

○AVE MARIA

本番のオルガンは余り聞こえないので頼らないで。

・度々出てくる「gra-ti-a」の「ti」はツイと発音する。

○Ave Verum

・3 ページ 24 小節から「Es-to no-bis pra-gus-ta-tum」は声を落とさないで深い響きで、32 小節「mi-ne」からクレッシェンドする。

・4 ページ 33 小節のクレッシェンドは「Es-to no-bis から prae の入りは気を付けて「gus-ta-tum」の「tum」は少し短かくなっても良いので「inmor-tis」の f に持っていく
、ディミヌエンドは 40 小節からにする

○Kyrie

・「ky-ri-e_e-lei-son」の 16 分音符は全てお腹で支えて切るように(メリスマ)

・4 ページ 12 小節と 5 ページ 26 小節と 28 小節の「e-lei-son」の「e」はアクセントスタッカートがついていますが、ちゃんと響きを出すと本格的に聴こえる。

○Gloria

○Credo

○Sanctus

・スタートの「San-ctus」は伴奏のリズムを体で感じてイメージしながら。

○Benedictus

○Agnus Dei

・29 ページ 21 小節

「qui tol-lis」の「qui」はスピード感を持って「i」がちゃんと聴こえるように。

・30 ページ 40 小節～46 小節

「do-na no-bis no-bis pa-cem」は、しっかりお腹を使って

・31 ページ 50 小節からの ff

「do-na no-bis no-bis pa-cem」は最後の終曲でオケもしっかり出るので、負けないようにしっかり体を使って。

○あなたのことを

○はじまり

○雨

・スタートからちゃんと体を支えて歌わないと、響きが暗くなり演奏が重くなる。

○花

○温かいシチュー

以上です

新里♪